

# ハウス オブ ダイナマイト

監督

キャスリン・ビグロー

脚本

ノア・オープンハイム

一部劇場にて10月10日(金)公開

NETFLIX

10月24日(金)配信スタート

 82  
MOSTRA INTERNAZIONALE  
D'ARTE CINEMATOGRAFICA  
LA BIENNALE DI VENEZIA 2025  
Official Selection

映倫  
15歳以上

# 1発の出所不明のミサイルが 米国に向けて発射された。

一体誰が発射したのが、

そしてどう対応するべきか…。

## 名匠キャスリン・ビグロ-意欲作

『ハート・ロッカー』(08)で女性初のアカデミー監督賞と作品賞を受賞した、骨太な社会派サスペンスを得意とする名匠キャスリン・ビグロ-監督の『デトロイト』(17)以来8年ぶりとなる長編映画最新作! 国家の頂点で揺れる選択と責任が、息をのみ緊迫感とともに描かれるハリウッド最高峰のポリティカル・スリラーである本作『ハウス・オブ・ダイナマイト』は現代の世界情勢を切り取った、まさに“今”をリアルに描いた作品である。ビグロ-監督は「今日、核兵器の脅威はさらに増えています。複数の国々が、文明社会を数分で終わらせられるほどの核兵器を保有しているにもかかわらず、一種の集団的な麻痺状態、つまり“想像もできない静かな常態”が起きているのです。破滅という結末が待っているというのに…私はこの矛盾に正面から切り込む映画を作りたかったのです。絶滅の影の下で生きながら、それについてほとんど語らない世界の狂気に深く迫るために。」と語っている。

# 人類滅亡へのカウントダウンが始まった。

## ハリウッドの才能集結

脚本にはアカデミー賞ノミネート作品『ジャッキー / ファーストレディ 最後の使命』の脚本を担当し、第73回ヴェネツィア国際映画祭で脚本賞を受賞したノア・オッペンハイムが参加。出演は、2016年の全米映画俳優組合賞(SAG賞)で助演男優賞(『ビースト・オブ・ノー・ネーション』)とTV映画・ミニシリーズ部門賞(『刑事ジョン・ルーサー』)を受賞し、一晚で2つの賞を獲得した最初の男優イドリス・エルバがアメリカ合衆国大統領役を演じ、大佐役には主要キャラクターを演じた『ミッション:

インポッシブル』シリーズで知られ、『ミッション:インポッシブル / デッドレコニングPART ONE』(23)ではその演技が認められ2024年クリティクス・チョイス・スーパー・アワードのアクション映画主演女優賞を受賞したレベッカ・ファーガソンが肩を並べる。さらに、ガブリエル・バツォやジャレッド・ハリスといった実力派俳優に加え、WNBAのスター選手であるエンジェル・リースもキャストに名を連ねている。

監督: キャスリン・ビグロ- 脚本: ノア・オッペンハイム

キャスト: イドリス・エルバ、レベッカ・ファーガソン、ガブリエル・バツォ、ジャレッド・ハリス、トレイシー・レッツ、アンソニー・ラモス、モーゼス・イングラム、ジョナ・ハウアー=キング、グレッタ・リー、ジェイソン・クラーク

2025年 / アメリカ / 英語 / 112分 / ドルビーデジタル / ビスタサイズ / 原題: A HOUSE OF DYNAMITE / G

公式HP: <http://cinemalineup2025.jp>